



株式会社まんまる笑店
代表取締役社長

株式会社杉山設計事務所
代表取締役社長

恩田聖敬 × 杉山宜央

リモート対談

新社会人の君たちへ

杉山設計事務所では今年四月、新たに二人の社員を迎え入れました。それを受けて、かつてより親交のあった株式会社まんまる笑店の代表取締役社長 恩田聖敬さんと、新社会人となる彼らに向けた思いや考えを語り合いました。

■ From: 恩田聖敬

皆様が入社した会社の社長はどんな人でしょうか。杉山社長は私の五つ年上です。しかし、杉山設計事務所創業は二〇〇八年なので、三代半ばで独立して社長になったということになります。

杉山社長の四月一日のFeedbackをご覧になったでしょうか？

本日、無事に入社式を迎えることができた。二人の新入社員、期待しかありません！

リーマンショックの年に創業しました。今あるのは前向きに駆け抜けた時があるから。

新たなメンバーと共に、改めて頑張ろうと思っただいになりました。人生最高の旅をしよう！

「人生最高の旅をしよう！」。この言葉から杉山社長は皆様の仕事だけでなく、人生までを預

かり共に歩もうという覚悟をお持ちなのが有りりとわかります。良い会社を選びましたね！

杉山社長との出会いは、杉山設計事務所がスポンサーを務めるFC岐阜の社長に私が就任したことがきっかけでした。当時私は三五歳、リーグ史上最年少社長です。プチ自慢(笑)

杉山社長と経営論を直接語り合ったことはいませんが、私から見た杉山社長の経営哲学を同じ社長として話してみたいと思います。

● 三方よし

古くの近江商人の心得です。

・ 売り手よし(皆様従業員)

・ 買い手よし(お客様)

・ 世間よし(地域社会・地域の人々)

通常、売り手⇄会社自体と考える経営者が多い中、杉山設計事務所は、売り手⇄従業員、とホームページに明記してあります。会社とは何ですか？杉山社長は皆様が人生最高の旅が出来る舞台だと考えていらっしゃると思います。会

社と従業員の立場は対等だと私は思います。会社のためではなく自分の成長のために仕事をしてください。皆様の成長が将来の杉山設計事務所及び皆様の人生に豊かさをもたらすと、杉山社長は信じていらっしゃいます。誰よりも従業員を大切にしている経営者です。いつか恩返ししてください。

●二つの良し

このバランスを取ることで、経営者としてある意味で一番の仕事かもしれません。

一つ目の良し＝損得、つまり儲かるか？
二つ目の良し＝善悪、つまり道徳的にどうか？

例えばこのコロナの事態においても保健所等を騙る詐欺が横行しています。売り手は確かに儲かるでしょう。しかし道徳的には言うまでもなく完全にアウトです。

例えば「ゴミ処理の会社を考えてみましょう。買い手は「ゴミを適正価格で引き取ってもらえれば満足です。でも売り手が自分の儲けを増やすためにゴミを不法に投棄していたら、地域の人々はたまったものじゃありません。」
つまり、真の三方良しを成し遂げるには三方×二つの良し、合わせて六つの良しをバランスを取る必要があります。杉山社長は、売り手＝従業員、定義して様々な研修を受けてもらっています。またFC岐阜のスポンサーも務めています。それは会社の儲けを従業員や地域社会に還元しているということです。裏を返せばそれだけの儲けを毎年確実に出しているということです。

世の中には儲けを出すために善悪の良しの考えを捨ててしまう人や、儲ける力はあっても儲けを全て自分のものにしてしまう人がたくさん

います。けれど杉山社長は違います。儲ける力を持ちながら誰よりも善悪の良しを重んじる方です。そしてその考えを自分だけでなく、杉山設計事務所の人々にわかって欲しいと考えていらっしゃいます。杉山社長の背中を追いつけてください。多分胸を張って人生を歩めるようになります。

一つ儲ける力に身をつける秘訣を教えます。儲けるためには買い手良し、つまりお客様にとって良いものを提供しなければいけません。その指標を教えます。それは『お金を払う側である買い手が売り手に「ありがとう」と言ってもらえた時』です。このありがたうは、まさしく買い手良しの合図です。私の仕事のモチベーションはお客様のありがたうです。それは新卒当時から今も全く変わりません。ありがたうって言われると超気持ち良いですよ！

●社長が従業員に対してやるべきこと

これは私の持論ですが、二つあると思います。
①社会人として、どこへ行っても通用する人材に育て上げる。稼ぐ力を身につけてもらう。
②杉山設計事務所で働くことを皆様が誇りに思えるように会社を磨き上げること。

これらは杉山社長だけが意識することではありません。皆様の努力が合わさって初めて成し遂げられます。頑張りましょう！

●仕事は上手いかないのが前提

私はALSという難病を発症しています。ALSとは身体中の運動神経が侵される原因不明、治療法なしの病気で、肺の筋肉の衰えにより、私は常に人工呼吸器をつけないと生きられませ

ん。もし人工呼吸器が外れたら五分で死にます。また喉の筋肉の衰えにより喋れません。手足もほとんど動かないので、この原稿はiPadで操作して書いています。このパートを読むまで、私がそんな状況だと皆様思いましたか？

私は常に健康診断でも異常なしで、ALSになつた時医者から『あなたは何も悪くない、ただ運が悪かっただけです。』と言われました。こんな理不尽はありません。

皆様のこれからの仕事人生においても、様々な理不尽が待ち受けていると思います。私が新卒時代に研修で教わった考え方に、『仕事は上手いかない。人生も上手いかないのが前提。だから上手いかないのために必死で仕事して、必死で生きる。』というものがあります。

私はこの考えをALSの身でも実践しています。株式会社まんなる笑店を設立して代表取締役社長に就任し、全国で講演・執筆活動をしています。杉山社長には会社設立にあたって多大なるご支援をいただきました。

杉山社長は『人間の可能性』を信じている方です。皆様も壁にぶつかったら杉山社長に相談しましょう。壁にぶつかるとは成長するチャンス、仕事を上手いかないさせるチャンスです！

ここまでiPadを操作して約六時間かかりましたが、没頭していると時間を忘れてしまいます(笑)

■From: 杉山宜央

ありがたうございます。恥ずかしくなるくらい私の想いを代弁してくださいました。(笑)

●共に学び、共に育つ

入社式にて、社員全員を前に私から「共に学び、共に育つ」というメッセージを伝えさせていた

できました。

この言葉、恩田社長ならご存知かと思いますが、FC岐阜の礎を築き上げた今西和男さんがFC岐阜の社長時代にクラブ理念としていた言葉です。

当社は創業十数年が経ちましたが、その半分以上は固定メンバーでやってきました。創業した頃はリーマンショック後と建設不況時代ということもあり、少数精鋭で厳しい時代を勝ち抜いてきました。その時に一緒に頑張ってくれたみんなのおかげで、仕事の量が徐々に増え、取引先の皆様からの信頼が大きくなっていくことも実感するようになり、その信頼を将来にわたっても伝えていくことが使命と感じてきました。

そうは言っても今まで少数精鋭、あうんの呼吸でやってきた環境で、新しい人を迎え入れていくことは、せつかくの人財を活かすことができなくなってしまうのでは？という躊躇もあり、なかなか規模を大きくすることができませんでした。

一緒に働きたい、入社したいと思ってもらうように、何気なくやってきた社会貢献活動をCSR活動という形にし、NPO法人Mブリッジの米山代表をはじめとするスタッフの方々のお力添えを頂きながら、社員全員でCSR活動報告書を作成しました。

その後、徐々に当社のファンを拡大していくことができ、それと同時に当社に関心をもってくれる人財も増えてきました。

また、CSR、SDGsについて興味を持つと、社会問題や世の中の流れについても自分なりに勉強するようになり、時代の変化に柔軟に対応することの大切さを感じました。

まだ小さい会社ですが、ここ数年で社員数が倍になりました。社内の環境も変化してきました。新しい人財を受け入れていく中で、自分

たちが今まで感じなかった発見も出てくると思います。特殊な設計をしているので、教え方ひとつで理解度が大きく変わります。上手く伝わったとき、先輩・上司の成長にもつながりますし、少しでも理解したいという若手技術者の努力を感じれば、お互い成長することができると思い、「共に学び、共に育つ」というメッセージを伝えました。成長している会社・組織だからこそ、大事な理念になります。

私は歴代の今西社長、薫田社長、恩田社長、宮田社長がスタジアム入口でお出迎えしている姿を拝見すると、地域とともに、クラブを成長させたいという強い気持ちを感じていました。恩田社長の経営哲学の中にある人財教育はどのようなお考えでしょうか？

■ From: 恩田聖敬

社長の仕事は社員とのコミュニケーションがほぼ全てだと思います。私がFC岐阜社長を辞める決断をしたのもそこにあります。今ほどiPadを使いこなせてなかった当時、私はコミュニケーション難民と化していました。自分で言うのも何ですが、私はコミュニケーション能力（人として信頼してもらう力）だけでここまで来ました。何の特殊技術も持っていません。話すことによるマネジメントこそ自分の唯一の武器でした。だから日本語さえ通じるならどんなジャンルの仕事でも出来る自信がありました。

話は逸れましたが、私が新入社員の皆さんにお伝えしたいことは、とにかく目の前の与えられた仕事をがむしゃらにすることですかね。半年やそこらでは自分の会社や仕事への相性は見えないのに、我慢のできない新卒生を何人も見えました。私自身、新卒時代に上司から「悩むのは暇だから」と言われました。

この言葉の真意は、「知識も経験もない新卒が

いくら悩んでも答えが出るはずもない、悩む暇があるなら今自分にできることをとにかく全力でやれ！」ということです。

一〜三年全力で仕事に向き合えば、必ず今の自分からワンランク上のステージに行けます。「こんなちっぽけなことで俺は悩んでいたんだ」と笑い飛ばせる自分になります。そしてその成長は仕事だけでなく、人生にもプラスに働きます。騙されたと思ってやってみてください。

■ From: 杉山宜央

そうですね。仕事には、やらないといけないこと、must“できること”can“やりたいこと”、will“望みますが、最初からやりたいことで成果を出す人”、そうしないと、一段下がってcanを探して、できることを積み重ねていくうちにwillがみつかる。もしcanがないならmustをやる。やらなければならないことは、どの仕事でもあると思います。特に若いうちは、目の前の仕事(must)をちゃんとやりきって、成功体験(can)を積んでいくと、何かやりたいこと(will)が見つかるという順番になると思います。自分が成長する過程の中で、この三つの重なりが大きいほど満足感を得られると思います。何事も自分自身を高めるため、意識し続けてほしいですね。

「いい人生を送って欲しい！本当にそれだけ！」その人生の中でお互い尊重し合い、一緒に成長しながら仕事ができたら、よいパートナーになりますね。

恩田社長が仰る「社長の仕事は社員とのコミュニケーション」は、設計技術者でやってきた私にとって、一番学ばないといけないスキルだと思っています。社会人としてマナー、設計業

務に関する事など、多方面のコミュニケーションをとることにあります。同じ伝えることでも人の感情を大事にしてあげないと、その効果は全然違いますからね。恩田社長のスキルをたくさん伝授していただきたいです。よろしくお願いたします!!

それでは恩田社長、最後に一言お願いいたします。

■ From: 恩田聖敬

皆様、人生最高の旅をしましょう！



恩田聖敬 (おんだ・さとし)

1978年生まれ。岐阜県山県市出身。京都大学大学院航空宇宙工学専攻修了。新卒入社した上場企業で、現場叩き上げで5年で取締役就任。その経験を経て、JリーグFC岐阜の社長に史上最年少の35歳で就任。現場主義を掲げ、チームの再建に尽力した。就任と同時にALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症。2015年末、病状の進行により職務を遂行することが困難になり、やむなく社長を辞任。翌年「ALSでも自分らしく生きる」をモットーに、ブログを開設。クラウドファンディングで資金を募り、株式会社まんなる笑店を設立。講演、研修、執筆等を全国で行う。2018年に気管切開をして、人工呼吸器ユーザーとなる。日本ALS協会岐阜県支部長。岐阜大学非常勤講師。私生活では2児の父。著書に「2人の障がい者社長が語る絶望への処方箋」がある。株式会社まんなる笑店ホームページ <https://ondasatoshi.com/company/>

杉山宜央 (すぎやま・のりひさ)

1973年生まれ。愛知県一宮市出身。名城大学大学院土木工学専攻修了。新卒入社した大規模橋梁工事などを手掛けるゼネコンで、コンクリート橋の設計や施工管理に従事。2008年に杉山設計事務所を創業、2018年に株式会社杉山設計事務所組織変更。高速道路を代表とする大きなものから小さな川に架かる身近なものまで暮らしに関わる橋梁の設計や、耐久性・機能性に優れた構造物を作るためのコンクリート構造物の温度応力解析、建設業の生産性向上を実現するBIM/CIMモデル・3Dシミュレーションの作成など、幅広いサービスを展開。2019年、名古屋ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定。技術士、コンクリート診断士、CSRリーダー、大学非常勤講師としても活躍中。私生活では3人娘の父。座右の銘は「初めの歩は自分への尊敬から」。株式会社杉山設計事務所ホームページ <http://www.s-pec.jp/>